

株式会社ジャパンウインドエンジニアリング「(仮称) 三十三間山風力発電事業環境
影響評価方法書」に対する勧告内容

環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法について

1. 本事業計画では、風力発電設備及び附帯設備の構造・配置又は位置・規模に係る具体的な事業計画が明らかになっていないことから、これらを明確にした上で、適切に調査、予測及び評価を行うこと。
2. 近年の局所集中的な降雨の傾向と土捨て場や道路工事に係る雨水排水対策を踏まえ、濁水の影響について適切に調査、予測及び評価を行うこと。
3. 対象事業実施区域及びその周辺は、希少猛禽類の生息及び小鳥類等の渡り鳥の経路となっている可能性があるため、専門家等の助言を踏まえ必要に応じて調査の追加や見直しを検討するとともに、鳥類の調査に当たっては、適切な調査地点及び時期を設定するなど、適切に調査、予測及び評価を行うこと。
4. 対象事業実施区域及びその周辺には、植生自然度が高い植生や巨樹・巨木林が存在していることから、現地調査により存在する区域を明らかにするとともに、専門家等からの助言を踏まえ、適切に調査、予測及び評価を行うこと。また、植物の調査については、早春に開花する種に配慮し、調査の時期を設定すること。
5. 生態系の典型性注目種については、採餌環境などの生息状況等を踏まえ、適切に選定を行うこと。
6. 景観に係る眺望点として、重要伝統的建造物群保存地区および福井ふるさと百景等に指定されている熊川宿を追加すること。

(福井県知事及び滋賀県知事からの意見書の写しを添付)